

学 級 活 動 指 導 案
議題名「『学級パワー』アップ大作戦！」〔学指要領：（１）ア〕

令和6年10月 第3学年 指導者 鹿内 美緒

I 議題の構想

1 議題観

本議題は、学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関する内容であり、学級パワーを高めるため、学級の課題に対して何ができるかを話し合うものである。学級パワーとは児童の学級に対する意識調査を基にして目指すべき方向性を視覚的に表したものであり、客観的に自分たちの学級を見つめ、更によりよくしていくための指針となるものである。

3年生の時期は、小集団が分立し学級全体としてのまとまりが育ちにくい時期であるとされている。また、中学年においては、様々な集団活動や体験的な活動を通して、互いを尊重し、協力し合って学級の生活づくりに主体的に参画するようにするとともに、日常の生活や学習について、めあてや目標を持ち、意欲的に取り組み、振り返り、改善することが大切であるとされている。本学級の児童については少しずつ集団としての意識が高まってきたと感じるが、一方で相手のよさに目が向かなかったり、学級の一員として協力して何かに取り組んだりということに課題が見られる。

そこで、学級の課題を解決するためにできる取組について考え話し合うことは、集団としての一員であることを一人一人が自覚するとともに、互いのよさを認め合いながら学級のために行動することのできる児童を育成することができると考え、本議題を設定した。

2 研究との関わり

本時では、学級パワーを高めるために学級として何ができるかを考え話し合う。その際、学級の課題を自分事として捉えて主体的に話し合い活動に参加したり、友達の意見を大切にすることでなく頑張りを認め合ったりできるようにする。また、事後の活動として学級で決めた取組を実践し、その中でも互いのよさや頑張っている姿を認め合っていく。本研究は、これらの学習過程を通して、一人一人の集団意識や学級づくりへの参画意欲が高まり、互いのよさを認め合いながら学級のために行動することのできる児童が育成されたかを検証していく。

3 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。	・話し合い活動の経験が少ないため、話し合い活動の方法が身に付いていない。
思考力、判断力、表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようになる。	・学級をよりよくしていこうとする意識は見られるが、課題に目を向けた行動に移したりすることのできる児童は少ない。
学びに向かう力、人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	・特定の児童同士のつながりは感じられるが、学級全体としての集団意識は薄い。

4 評価規準

知識・技能	・よりよい学級をつくるために、他者と協働して取り組むことの大切さや、意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・よりよい学級をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい学級をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

過程	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評価に用いる評価
事前の活動	<p>■学級の現状を把握し、課題を見付けることができるようにする。</p> <p>□学級力アンケートを行う（★）。</p> <p>□アンケート結果から学級の課題を見だし、議題を決定する。</p> <p>□学級会の進め方について理解する。</p>		○	○	<p>◆学級の課題を解決するための見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>＜発言・観察（態）＞</p> <p>◆学級の意識調査の結果から、よりよい学級にするために、自分たちに必要なことは何か、考えている。</p> <p>＜発言・観察（態）＞</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【議題・題材の学習課題等】 「学級パワー」アップ大作戦！</p> </div>					
	□議題について、学級でできる取組を考え、ワークシートに記入する。				<p>◆学級の課題について、それを解決することができる取組を考えている。</p> <p>＜ワークシート（思）＞</p>
本時の活動	<p>■議題を自分事として捉え、学級をよりよくするためにみんなで協力してできることを考えることができるようにする。</p> <p>□話し合い活動を行い、学級でできる取組を決定する。</p>	○	●		<p>◆自分の意見について理由を明らかにしながら発言したり、友達の意見と比べながら聞いたりしている。</p> <p>＜発言・観察（思）＞</p> <p>◆話し合いの進め方や合意形成の仕方について理解している。</p> <p>＜発言・行動（知）＞</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【本時のめあて・課題等】 みとめ合いパワーを高めるための作戦を決めよう</p> </div>					
事後の活動	<p>■決定したことを実行し、振り返ることで、自分たちで学級をつくっているという実感をもてるようにする。</p> <p>■実践の継続につなげる。</p> <p>□決まったことを学級コーナーに掲示し、意識しながら学校生活が送れるようにする。</p> <p>□話し合いで決めた取組について、実践する。</p> <p>□実践について、自分がどれくらいできたか振り返る。また、友達の取り組みに対しての相互評価を行う。</p>			●	<p>◆話し合いで決定したことについて、進んで取り組んでいる。</p> <p>＜行動・観察（態）＞</p> <p>◆自分の行動を振り返り、これからの学校生活に生かそうとしている。</p> <p>＜ワークシート・観察（態）＞</p> <p>◆友達の行動について、その姿を互いに認め合っている。</p> <p>＜ワークシート・観察（態）＞</p>

Ⅱ 本時の学習

- ねらい 学級に対してのアンケート結果を基に話し合うこと通して、学級の課題を自分事として捉え、解決するための具体的な取組を考えることができる。
- 展 開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 コンプリメントの交換を行う。（導入5分） S：〇〇さんが休み時間に遊ぼうと誘ってくれたことが嬉しかったです。</p>	<p>◎明るい雰囲気のもとで話し合いが行われるように、友達のよさに着目した発表をし合う時間を設ける。</p>
<p>2 事前に決定した議題や話し合う目的を確認し、本時のめあてをつかむ。（導入2分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>＜めあて・課題等＞ みとめ合いパワーを高めるための作戦を決めよう。</p> </div> <p>S：今日の会議は、みとめ合いパワーについてみんなで考えるんだな。</p>	<p>◎学級の実態が視覚的に把握できるように、アンケート結果（レーダーチャート）と前時の話し合いの記録を提示する。 ○議題を自分事として捉えて話し合いに参加できるように、話し合う目的を確認し、話し合いに参加する態度について全体へ助言する。 ○話し合いや合意形成の仕方を身に付けたり、意見を発表しやすくしたりするために話し合いガイドブックやワークシートを使用する。</p>
<p>3 みとめ合いパワーを高めるための取組について、一人ずつ意見を出し合う。（全体） （展開①8分） S：いいところ見付けをやると思います。 理由はよいところを伝え合えるからです。 S：帰りの会にいいところを発表したらいいと思います。</p>	<p>○話している児童を見て、自分の意見と同じかななどを聞き逃さないように聞くことを促す。 ○自分と友達の意見を比べるために事前に書いたワークシートを見てもよいことを伝える。 ○話し合いが円滑に進むように、児童から出た意見を教師が短冊に書き示す。</p>
<p>4 出された意見を比べ合い、全員で実行できる取組について考える。（グループ、全体） （展開②16分） S：いいところ見付けは、係でやっているよね。 S：全員がみとめてもらうには、どうしたらいいかな。 S：全員にいいところを書くのは大変じゃないかな。 S：グループの人同士で書いたら、書けるんじゃないかな。</p>	<p>◎学級パワーを高めると学級にとってどんなよいことがあるのかを想像できるような言葉掛けをすることで、学級のために頑張るという意識をもてるようにする。 ○特定の児童の行発言を否定することなく、学級全体へ目を向けられるよう助言する。 ◎友達の意見について、ハンドサインで反応したり、拍手をしたりすることで互いに認め合えるようにする。 ○児童の意見を紙に書いたものを黒板上で移動させながらまとめていくことで、児童が視覚的に学級の意見を理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 友達の意見と自分の意見を比べながら、学級の課題の解決に向けてできることを考えたり発言したりしている。 ＜発言・ワークシート（思）＞</p> </div>

<p>5 取組についてまとめる。</p> <p style="text-align: right;">(展開③7分)</p> <p>S：いいところ見付けを全員でやることに決まったね。全員の名前が書かれたノートを早速作ろう。</p> <p>S：みんなで頑張って、学級パワーを高めよう。</p>	<p>○ガイドブックを基にどのようにまとめるのかを考えることで、なるべく多数決に頼ることのないようにする。</p> <p>○みんなが納得して取組を決めることができるように、話合いの目的を再度話したり、普段の学校生活を思い出させたりする。</p>
<p>6 話合いを振り返り、今後の活動への見通しをもつ。</p> <p style="text-align: right;">(終末7分)</p> <p>S：ハンドサインを使って、話合いに参加することができて嬉しかった。</p> <p>S：〇〇さんがたくさん発表していてすごいと思った。</p> <p>T：それを聞いて〇〇さんはどう感じましたか。</p> <p>S：とても嬉しいです。次も頑張りたいです。</p> <p>T：Sさんも、友達のよいところを見付けることができて、素敵ですね。</p>	<p>◎めあてについて自身の活動を振り返るとともに、友達のよかった点などについても評価ができるように助言する。</p> <p>◎振り返りを発表することで、児童同士の言葉で互いを認め合えるようにする。また、教師が問い返しを行うことで、児童同士の思いをつないでいく。</p> <p>◎司会チームのよい面や学級のために一人一人が考えることができたことを称賛し、これからの学校生活に対する意欲を高められるようにする。</p>

3 板書計画

